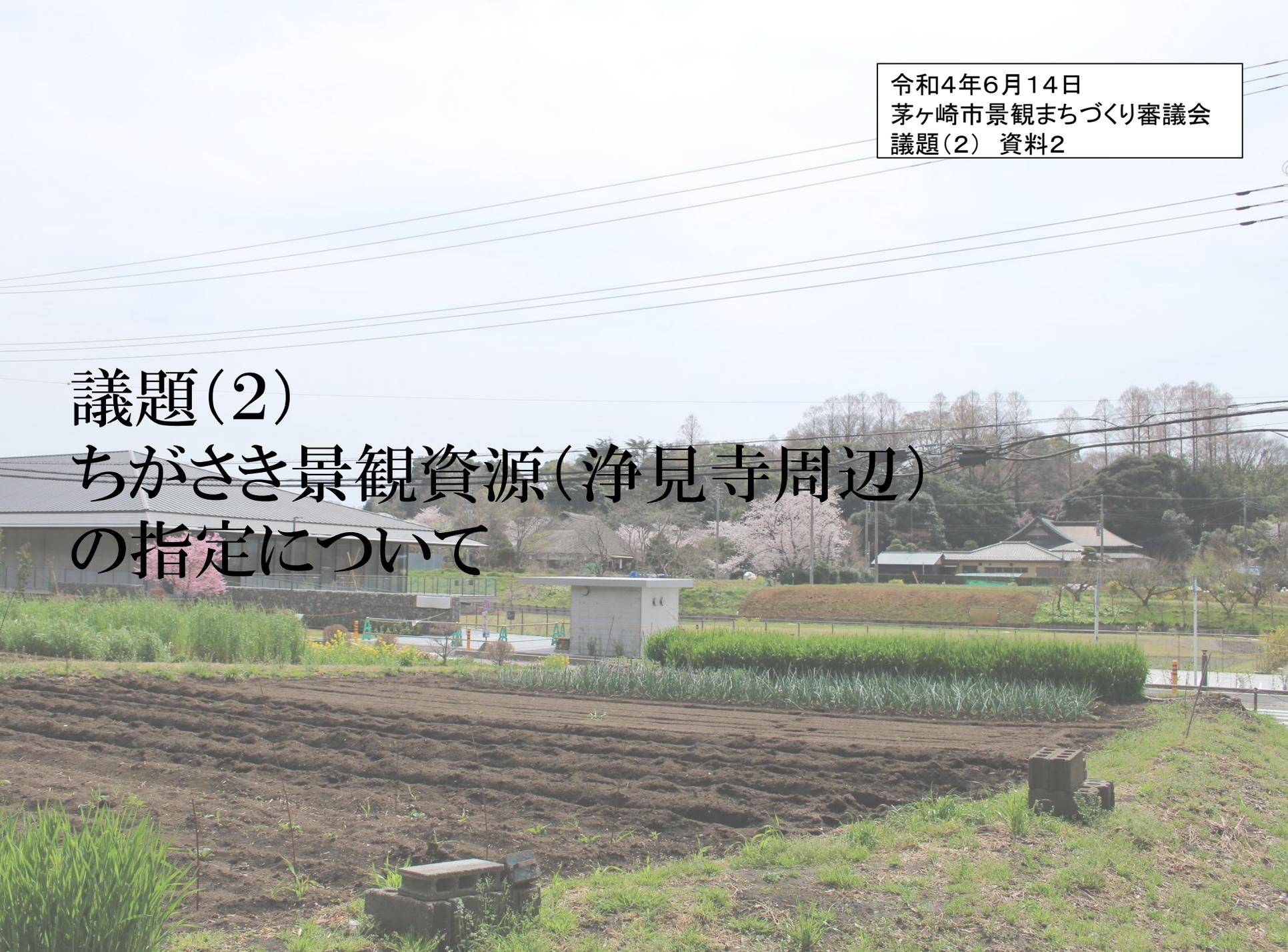


令和4年6月14日
茅ヶ崎市景観まちづくり審議会
議題(2) 資料2

議題(2) ちがさき景観資源(浄見寺周辺) の指定について



ちがさき景観資源とは

- 市景観条例で定められた独自の規定で、市内各地でまちのシンボルとなっている樹林、樹木、その他茅ヶ崎らしい景観を構成する要素を指定するもの(第15条第1項)
※ちがさき景観資源の指定対象…みどり、街並み、心象風景、歴史・文化、祭事等の資源を幅広く指定するもの
- 指定にあたり、審議会からの意見を聞くこと及び所有者の同意が必要となります(第15条第2項)

指定方針

- 1)景観計画、都市マスタープランなど、本市のまちづくりの目標や方針等に合致するもの。
- 2)市民や来訪者に愛され、茅ヶ崎の文化やシンボルとなっているもの。
- 3)維持管理、指定解除の条件、周知イベントの実施など、保全活用方策を定めていること。

指定後は、資源の魅力の保全と活用、普及啓発に配慮した取り組みを進めます。

本市の指定状況

全8件

第1号 鶴嶺八幡宮参道の松並木



第2号 旧相模川橋脚のソメイヨシノ



第3号 腰掛神社の樹叢



第4号 鶴嶺小学校のカイツカイブキとソメイヨシノ



第6号 松尾大神のタブノキとイチヨウ



第7号 関東の富士見百景
茅ヶ崎市からの富士
茅ヶ崎市南湖の左富士



第8号 関東の富士見百景
茅ヶ崎市からの富士
茅ヶ崎海岸・ヘッドランドとその周辺



第9号 関東の富士見百景
茅ヶ崎市からの富士
県立茅ヶ崎里山公園内柳谷



※第5号 勘十郎堀のシイノキ 倒木の可能性があるため伐採されたので平成29年12月5日指定を解除

北部丘陵地域景観ゾーン



景観ポイントとは
景観ゾーンの景観特性を良く表し、茅ヶ崎の
「見どころ」となっている場所

見どころ

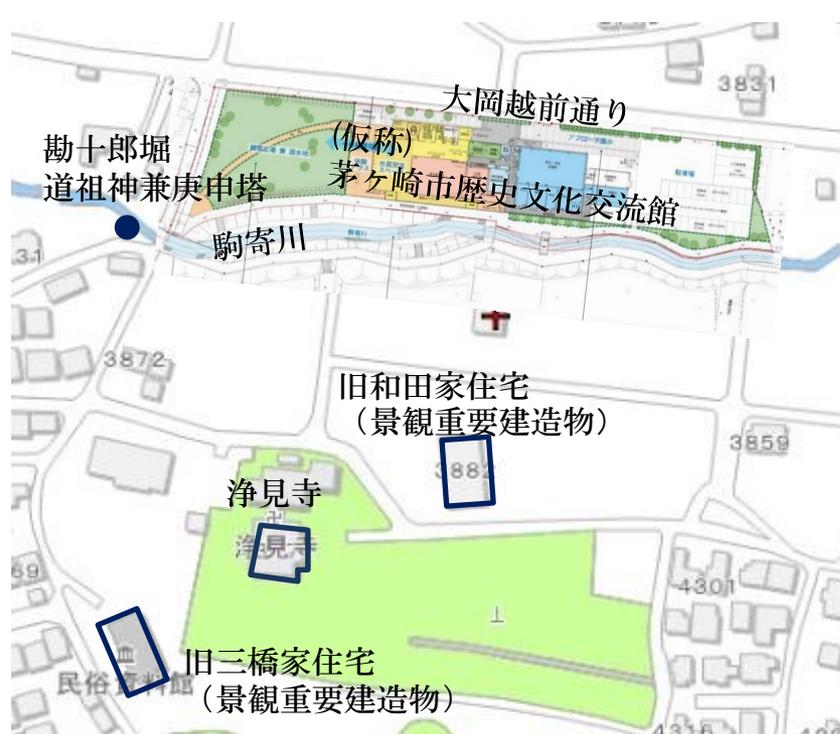
幕末期の生活に触れられる民俗資料館（旧和田家・旧三橋家）、浄見寺には市指定史跡、県指定史跡、県指定天然記念物等があり、茅ヶ崎の歴史の1ページをまとめて見ることができます。

方針

浄見寺や民族資料館周辺の眺望を保全・修景します。また、歴史資産を活用し地区の魅力を高める取組をすすめます。

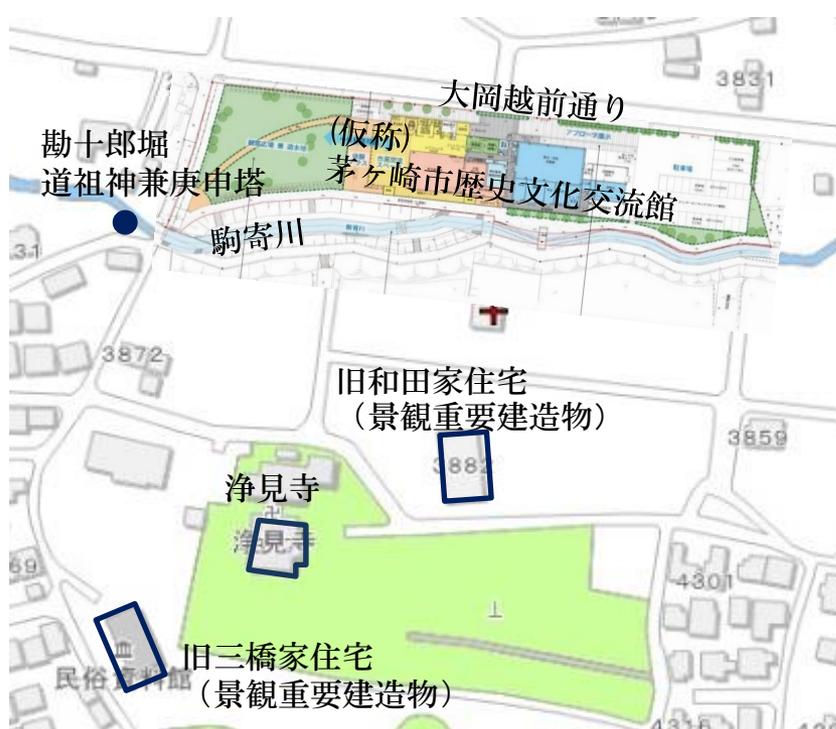


景観ポイント一覧



指定候補内周辺について

- 旧和田家住宅・旧三橋家住宅…市景観重要建造物、市重要文化財に指定されており江戸時代の民家の特徴をよく備えているものとして評価されています。
- 浄見寺…大岡政談などで名高い大岡越前守忠相の墓所で、歴史的に価値のある仏像を所蔵しており、敷地内には神奈川県天然記念物である樹叢があります。
- (仮称)茅ヶ崎市歴史文化交流館…今年夏に開館予定で、茅ヶ崎の考古、歴史・民俗、自然、図書の所蔵を予定しており、今後近隣の歴史資源を活用したワークショップや学習活動を行う予定です。
- 大岡越前通り…浄見寺に大岡越前守忠相の墓所があることから名付けられた名前
- 勘十郎堀の道祖神兼庚申塔…香川への用水路であった勘十郎堀は駒寄川脇に堰（水の制御装置）を設け用水を取り入れていました。



景観特性

- 景観計画で「北部丘陵地域景観ゾーン」に位置しており、茅ヶ崎を代表する歴史・文化が残されている。
- 旧和田家では地域の小学校で社会見学が行われ、浄見寺地元まつりや大岡越前祭が行われたりと地域のシンボルとして愛着持たれている。
- (仮称)茅ヶ崎市歴史文化交流館の整備により歴史・文化の発信拠点として期待できる。

経過及び今後の予定

令和4年 4月～

基礎調査、指定作業開始

令和4年 6月14日

景観まちづくり審議会へ報告

令和4年 7月～9月

実態調査 指定案作成・関係部署及び関係者との協議

令和4年 10月

原案確定

令和4年 12月以降

景観まちづくり審議会へ諮問(予定)

令和5年 3月以降

都市計画審議会へ諮問